

会 議 録

会議名	辰野町文化財保護審議会（第1回）
開催日時	令和5年8月2日（水） 午後3時00分～午後5時00分
場所	町民会館 104号学習室
出席者	12名（審議委員8名、事務局4名）

会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員委嘱状交付 3. 教育長あいさつ 4. 会長の選任について 5. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和5年度事業経過報告・事業計画について (2) 七蔵寺の百体観音について (3) 伝統的建造物群保存地区選定について (4) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・旧小澤家住宅、下町の火の見櫓の登録有形文化財登録について ・『辰野町資料』の刊行計画について ・横川の蛇石の現状について 6. その他 7. 閉会
------	--

会議結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員委嘱状交付 3. 教育長あいさつ 4. 会長の選任について 会長：三浦 孝美 職務代理者：三輪 憲昭 5. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 文化財保護事業 経過報告 事業計画について <ol style="list-style-type: none"> ① 文化財保護審議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月 油屋・下町の火の見櫓登録有形意見具申 ・ 10月 文化財パトロール ・ 10月 『辰野町資料』129号発行 ・ 11月 県文化財保護研修会 ・ 11月 文化財保護審議会（第2回） ・ 3月 『辰野町資料』130号発行 ・ 3月 文化財保護審議会（第3回） ② 文化財保護活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月2・3日 十一面観音造立700年祭 ・ 5月11日 十一面観音拝観 ・ 5月13日 油屋保存会総会・清掃作業 ・ 6月10日 油屋清掃作業 ・ 6月25日 十一面観音拝観 ・ 6月28日 県文化財パトロール ・ 6月30日 油屋見学・清掃作業（両小野小学校） ・ 7月8日 油屋清掃作業 ・ 7月27日 シダレグリ保存管理委員会 ・ 8月1日 新任教職員研修 ・ 8月2日 新任教職員研修 ・ 8月2日 文化財保護審議会（第1回） ~~~~~ ・ 8月5日 油屋清掃作業 ・ 8月24日 十一面観音拝観 ・ 9月9日 油屋清掃作業 ・ 10月7日 油屋清掃作業 ・ 10月8日 十一面観音拝観 ・ 11月12日 小野宿町並み講演会
------	--

③小野宿問屋保存会

- ・ 4月8日 全員作業・総会
- ・ 4月9日 春季特別公開
- ・ 5月7日 問屋見学
- ・ 5月11日 問屋見学
- ・ 5月14日 全員作業・定例公開
- ・ 5月31日 問屋見学
- ・ 6月11日 全員作業・定例公開
- ・ 6月30日 問屋見学
- ・ 7月9日 全員作業・定例公開
- ・ 8月1日 新任教職員研修
- ・ 8月2日 新任教職員研修

～・～・～・～・～・～・～・～・

- ・ 8月6日 夏季特別公開・夏季公開講座
- ・ 9月10日 全員作業・定例公開
- ・ 10月8日 全員作業・定例公開
- ・ 10月16日 視察研修
- ・ 11月3日 全員作業・秋季特別公開
- ・ 12月 冬ごもり作業
- ・ R6年3月 役員会

④小野のシダレグリ自生地保全友の会

- 月1回の手入れ作業（支障木・藪切り作業、外来種除去、下草刈りなど）

- ・ 3月22日 総会
- ・ 7月3日 研修視察
- ・ 8月 保護監視作業

～・～・～・～・～・～・～・～・

- ・ 3月 総会

● 本年度の主な事業について

- ・ シダレグリ植生調査
今年度の調査が終了。植生は改善している。
クヌギの伐採後に脇から細い枝が出ている箇所もあった。
- ・ シダレグリ毎木調査
毎木調査の結果は現状すべて得られていない。
一部、巨木が枯れているものがあつた。
巨木に限らず樹勢の弱った木は衰弱を弱める措置も検討していく。
- ・ 天然記念物再生事業
今年度で4年目。今年度は指定地中腹の0.3ヘクタールの刈り取りを実施予定。
今年度は補助金の関係で作業できる範囲が限られており、作業後刈り取った枝を指定地外へ仮置きし、翌年に処分する計画。

(2) 七蔵寺の百体観音について

- ・ お寺の総代会へ確認したところ、指定して構わないとの返答。
- ・ 七蔵寺の石造物を完全な形で並び替えるという提案もあるが、現実的に難しい。
- ・ 指定した後の責任問題が焦点。
- ・ 石造物を将来に向けて保存にするには作業などが必要となり、ボランティアを頼むなど結果としてお金がかかる。その覚悟をして指定する必要がある。
- ・ 地域から盛り上がり、指定を目指すような機運となるのが望ましい。
今後の整備や保存への機運を高めるよう、地元の人が学ぶような機会をつくっていくことが重要。
- ・ 審議会として、指定を目指していきたいが、詳しくは次回以降の審議会の場でも議論したい。

(3) 伝統的建造物群保存地区選定について

- ・ 小野宿の町並みを伝建群に選定を目指し、地元の方々の意向を聞きながら取り組みたい。
- ・ また、小野地区の歴史的な価値を認められ、地元の意向や熱意があれば重要伝統的建造物群保存地区に選定される可能性もある。
- ・ 指定を受けたほかの地域と比べても、伝統的建造物の密度は高い。

- ・ 地元の町並みを伝統的な建造物群保存地区に選定するために、現状調査や条例策定保存管理を担う委員会の設置なども必要か。
- ・ ただし、伝建群になるためには国道153号線の問題があり、道路の改善も必要となることが考えられるため、地元の協力が不可欠。
- ・ 地元の人々の関心や意向が重要なるが、選定によって地域への人の呼び込みや活性化にもつながるか。
- ・ 現存する建物や新たな建物の改装に制約はなく、外観の修景が行われることで地域の景観が整備され、補助金の支援が受けられる可能性もある。

(4) その他

- 旧小澤家住宅、下町の火の見櫓の登録有形文化財登録について
 - ・ 油屋は宿場の中心的な場所として、人々が集まり活動できる場所にしたい。
 - ・ 火の見櫓は、伝建群の入り口のランドマーク的存在として位置づけられる。
 - ・ 火の見櫓の設計には建築学的な評価もあり、登録有形文化財を進めるための取り組みも進めていきたい。
- 『辰野町資料』の刊行計画について
 - ・ 129号、130号を刊行予定。
編集担当 129号：中村委員
130号：三浦委員
- 横川の蛇石の現状について
 - ・ 県文化財パトロールにてやや苔があるとの指摘があった。
 - ・ 蛇石の清掃を行う活動が減少しており、蛇石の状態が懸念される。
地域の文化財として重要な活動であるため、人手の確保が課題。

6. その他

7. 閉会